

# 世界で働く日本人

所属	静岡県浜松市立豊岡小学校	実践者	江間 成昭 (G)
対象	小学5年生	時間数	7時間(45分間×7回)～
場所	教室	実践教科	学活、道徳、総合的な学習の時間
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーナ(外国、自分の知らない世界)の良さに気付く。</li> <li>・ガーナ(アフリカ)の課題&lt;貧困の輪&gt;と、各分野で活躍する日本人について知る。</li> <li>・自分だったらどの分野で活躍したいかを考え、目指す職業像(目標像の人でもよい)をもつ。</li> </ul>		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	I. 日本とガーナのつながり、ガーナの良さに気付く。 ①野口英世の生涯と、ガーナとのつながりを知る。 <読み聞かせ>	千円札、野口研の写真
	2	②ガーナクイズを通して、ガーナの面白さ・良さを知る。 <クイズ>	パワーポイント資料 アサラド(楽器) ガーナTシャツ
	3	II. ガーナ(アフリカ)の貧困の輪と、各分野で活躍する日本人について知る。 ①貧困とは何かを話し合い、アフリカの貧困について知る。 <ブレインストーミング>	資料「絶対的貧困という暮らし」
	4	②貧困の輪を作る作業を通して、貧困の原因を考える。 <因果関係図>	貧困の輪
	5	③貧困の輪の1つである「教育」の課題と活躍する日本人について知る。 <対比表、フォトランゲージ>	学校や生活風景の写真、日本人のインタビュー動画
	6	④その他の課題と活躍する日本人について知り、「技術」が日本の援助のキーワードであることに気付く。	
	7～	III. 自分だったらどの分野で活躍したいかを考え、目指す職業像(実際の人物でもよい)をもつ。 ①要請一覧表を見て、様々な分野で日本人が活躍していることを知り、自分が活躍したい分野を1つ選ぶ。  ②目指す職業について調べ、目指す職業像をもつ。または、その職業の第一人者など、目標像となる人物について調べる。	青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア要請一覧表
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と海外の違いを知ることで、海外の良さとともに日本の良さも分かった。</li> <li>・海外の人のために働いている日本人を知り、自分が目指す職業像(生き方)のヒントを掴んだ。</li> <li>・お互いの考えを伝え合うことで、考えが深まるという学習体験をすることができた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学習の必要性を、児童達にもたせることが十分にできなかったと思う。</li> <li>なぜ海外、なぜガーナか。なぜ日本が国際協力をする必要があるのか。</li> <li>・クイズも動画も精選が必要。同じことをし続けると、集中力が切れる。</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なねらいは、①異文化の良さを知ること、②海外の人のために働く日本人を知ることでもいいと思う。自分の目指す職業像・目標像はヒント程度に掴めればよいのではないかな。</li> </ul>		

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目「野口英世の生涯とガーナ」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ①「千円札の人物は誰？」…千円札の人物について知っていることを伝え合う。
- ②「野口英世を知ろう」…野口英世の伝記絵本の読み聞かせを聞く。聞いた後に感想を伝え合う。
- ③「ガーナでの野口英世を知ろう」…野口研究所の写真を見る。今でも人々の命を救うための研究が行われていることを知る。

#### この時限のねらい

- 野口英世の生涯を知る。
- 野口英世とガーナのつながりから、日本とガーナが昔からつながりがあったことを知り、ガーナという国について知りたいという意欲を持つ。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 千円札の人物については、夏目漱石、野口英世、福沢諭吉が出た。野口英世については、有名なお医者さんという意見が出た。
- ◇ 読み聞かせは、医者などに興味がある子は集中して聞いていた。  
→改善点:教師の読み聞かせのレベルアップ、聞くときに観点を持たせること、野口英世について知りたいという強い動機づけ等が必要だったと考えられる。
- ◇ 野口研究所の研究室の中の写真を見て、実際に研究が行われていることを知った。マラリアを媒介する蚊の写真には、驚いた児童がたくさんいた。壁に彫られた野口英世の自画像を見て、すごいと感じた。
- ◇ 野口英世には興味を持ったが、ガーナについて知りたいという強い意欲を持たなかった。  
→改善点:野口英世一本ではなく、子供たちにもっと身近なチョコレートも本時で紹介すれば、ガーナについて知りたいという大きな動機付けになったかもしれない。また、野口英世はここでは扱わず、身近な外国の食べ物というテーマで話し合い、チョコレートをとりあげてもよかった。

#### 3 使用した教材

- <教材1>千円札(実物)      <教材3>野口研究所の写真  
<教材2>「こわせたまま『野口英世(伝記絵本ライブラリー)』 2006、ひさかたチャイルド」

### 2 時限目「ガーナクイズ」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ①「ガーナダンス」…ガーナの児童たちによるダンスを見る。
- ②「ガーナクイズ」…グループ対抗戦のクイズを行う。
- ③「振り返り」…授業の感想を書き、伝え合う。

#### この時限のねらい

- ガーナの面白さ・良さを知る。

## 2 子どもの活動の成果・反応

◇ ガーナダンスに対しては、拒否的な感想も見られた。

→改善点:日本と比べて衣装が軽装だったことが主な原因だと思う。ダンスをいきなり導入で見せるのではなく、最後に見せたり、ただ見るのではなく教師も踊ったり、子供も一緒に踊ったりするとよかったかもしれない。

◇ ガーナクイズは楽しんでた。主な感想は以下の通り。

- ・ガーナのことがいろいろ知れてよかった。 ・ガーナ人はやさしそうな人が多いと思った。
- ・ガーナは、日本と比べて、町なみや食べ物が全く違うことが分かった。
- ・ガーナは貧しくても、楽しそうだった。 ・ガーナで金が採れることが分かった。
- ・ガーナで、日本は自動車で有名だから、どんどん機械のことを教えたいと思う。
- ・ガーナの人から見ると、日本人は良いイメージを持たれていて、うれしかった。
- ・プロスポーツ選手を目指しているガーナ人がいることが分かった。
- ・ガーナの人にも、日本のことをいっぱい知ってほしい。
- ・写真があったから、ガーナのことがよく分かった。ビデオも楽しかった。

## 3 使用した教材 <教材4>ガーナクイズ(パワーポイント資料、写真・動画)



<教材5>ガーナ衣装(Tシャツ) <教材6>ガーナ楽器(アサラド)

## 3 時限目「貧しいって何?」

### 1 子どもの活動の流れ

- ①「貧しい(貧乏)」って何だろう? <ブレインストーミング>  
…アフリカの先入観として、「貧しい(貧乏)」というイメージがあるが、具体的にどんなことなのかを想像して伝え合う。
- ②「実際のアフリカ」…資料<教材7>を読み、アフリカの貧困の実態を知り、感想を伝え合う。

### この時限のねらい

- 貧しいとは何かを考える。
- アフリカの貧しさの実態を知る。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇「貧しい(貧乏)」というイメージの書き出しは、「食べ物が少ない」「水が飲めない」等の大ざっぱで具体的でない考えが多かった。
- ◇アフリカの実態を知って書いた感想は、自分の想像よりもすごいというのがほとんどだった。  
具体的な感想は、以下の通り。

- ・アフリカは、自分が思っていたよりもずっと貧しい国だと分かった。 ・貧しすぎて、驚いた。
- ・電気が通っていないのは、私たち日本では考えられないことなので、びっくりした。
- ・13億の人がそのような暮らしをしているなんて。びっくりした。かわいそう。
- ・男しか学校にいけないなんて。日本ではありえないことがいっぱいあった。
- ・ほとんどの子供たちが、学校へ行きたいと言わず両親を手伝って一日中働いていることが分かった。
- ・僕に、こんな暮らしはできないと思った。想像できなかった。
- ・私のご飯を残してしまったとき、ガーナではありえない。日本に生まれて感謝しないとイケない。
- ・好き嫌いなく、食べ物は喜んで食べるものだとも考えられた。
- ・お金も全然ないし、物もない。水などもない。私たちの日常生活ではありえないことだと思った。ほしくても買うお金がないし、学校だって行けない。とても悲しいと思う。寄付をしてあげたいと思った。
- ・わたしたちにとってはありえないことでも貧困に苦しむ人たちはこれが通常になっていることを知った。
- ・アフリカは貧しい。日本の暮らしは便利。他の国の暮らしをもっと知りたい。

### 3 使用した教材

<教材7> JICA中部／平成25年度開発教育指導者研修(実践編)第2回 資料4

「1日1. 25ドル、年収450ドル以下＝絶対的貧困という暮らし」

## 4 時限目「貧困の原因は何？」

### 1 子どもの活動の流れ

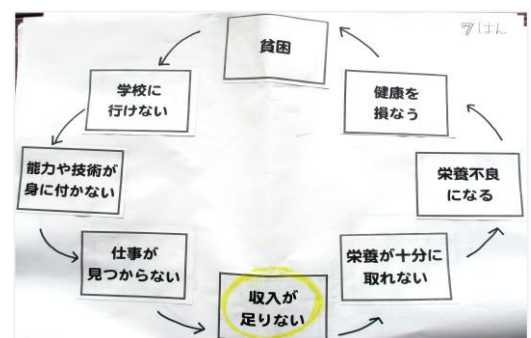
- ① 「貧困の原因とは？」…話し合う。
- ② 「貧困の輪」…グループで作る。<因果関係図>
- ③ 「貧困をなくすためには？」…作った貧困の輪を伝え合い、貧困をなくすためにどうしたらよいかを話し合う。

#### この時限のねらい

- 貧困の原因を考える。
- 貧困の輪を作ることで、貧困の因果関係を知る。
- 貧困をなくすために、貧困の輪の一つを解決すればよい流れになることに気付く。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 貧困の原因は自分で想像するのが難しく、意見があまり出なかったため、貧困の輪を作るグループ作業(4~5人)に入った。<教材8>
- ◇ 8つの貧困カードを輪にする作業は、話し合いが活発に進んだ。グループ発表では、様々な貧困の輪が出た。
- ◇ 授業の感想は以下の通り。



- ・ガーナの問題点を1つでもよくすれば、良い方向へ進むということが分かった。たくさん支援して、ガーナの人たちの生活を良くできたらいい。 ・貧困をなくすには、ほど遠いと思った。
- ・貧困をなくすために、できることはいっぱいある。例えば、募金をするなどしていきたい。
- ・ガーナの人達はお金がないから貧しいのかと思ったら、違う。いろいろな原因があって、びっくりした。
- ・貧困の原因となるものはいっぱいあって、それがじゅんかんしているから貧しくなっていると思う。

- ・何かを良くすれば、他のこともよくなる。少しずつやっていたら、だんだん貧しくなくなる。
- ・貧しさをすぐえることができることを知った。グループで理由を考えるのも面白かった。
- ・学校に行くことができれば、能力が身につくことが分かった。・貧困のカードを並べるのが難しかった。



### 3 使用した教材

<教材8> JICA中部『教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻』2006、東信堂

## 5 時限目「学校の問題点を解決しようとする日本人」

### 1 子どもの活動の流れ

- ①「学校の問題点って？」…貧困の輪の1つである「学校(教育)」の問題点をグループで予想し、伝え合う。<対比表>
- ②「写真で見る学校(教育)」<フォトランゲージ> …学校(教育)の問題点と関連した写真を見る。
- ③「頑張る日本人」…実際に今頑張っている日本人について、写真や動画を通して知る。

### この時限のねらい

- アフリカ(ガーナ)の学校(教育)の問題点を考える。
- 学校(教育)の問題点を知る。
- 学校(教育)の問題点なくそうと頑張っている日本人について知る。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 日本の学校とアフリカ(ガーナ)の学校の対比表をグループで作ることで、様々な考え(予想)が出た。  
:学校がある・ない、水道の水が飲める・飲めない、先生がいる・いない、電気がある・ない、給食がある・ない、学校が近い・遠い、文房具がある・ない、学校に行かなきゃいけない・行けない 等
- ◇ 学校や生活風景の写真を見て、問題点を実感した。
- ◇ 頑張る青年海外協力隊(小学校教諭)のインタビュー動画を見ての感想は以下の通り。

- ・世界はとても広い。私にできることをしたい。
- ・外国の人を手伝う勇気があるのがすごいと思う。
- ・日本の先生が、子供たちだけでなく大人も教えるということを知ってびっくりした。
- ・日本より生活が難しい国で、すごいことをやっている人がいることがすごいと思った。
- ・違う国でいろいろな工夫をして頑張ろうと思っている人がいることがすごい。
- ・頑張っている日本人がいて、少しでも興味を持ってほしいという気持ちが伝わった。
- ・「日本人として輝いてほしい」と言われ、これから頑張ろうと思った。
- ・(インタビューで言っていたように)夢は、大きくしていきたい。

### <対比表>

アフリカ ガーナの教育問題	
日本	アフリカ ガーナ
例 学校がある	例 学校がない
いっくえがある	いっくえがない
いすがある	いすがない
書物がある	書物がない
給食がある	給食がない(少ない)
教育が送達している	教育が送達していない
紙がある	紙がない
水道水がのめる	水道水がのめない
先生がいる	先生がいない
学校がきれい	学校がもうい
教材がある	教材がない
数が多い	数が少ない
行かばよしいけい	行けない
チャックがある	チャックがない
お金がある	お金がない
服がある	服がない
学校が近い	学校が遠い
トイレがある	トイレがない
電気がある	電気がない
お湯あり	お湯ない



### 3 使用した教材

<教材9>学校や生活風景の写真

(学校の問題点と関連した写真) <机と文房具>

<教材10>青年海外協力隊(小学校教諭)のインタビュー  
動画



## 6 時限目「日本の誇る『技術』で国際協力」

### 1 子どもの活動の流れ

- ①「頑張る日本人パート2」…動画を通して、自動車整備・医療・農業の分野で頑張っている日本人を知り、感想を伝え合う。
- ②「日本の技術」…「技術」が日本人の援助で大事なことだと気付く。

#### この時限のねらい

- アフリカ(ガーナ)で、他にも頑張る日本人について知る。
- 日本の技術が世界に誇るものであることに気付く。

### 2 子どもの活動の成果・反応

◇インタビュー動画を続けたため、集中力が続かなかった。

→改善点:写真、文章等も混ぜて、変化をつければよかった。また、見せるインタビュー内容を精選して、動画を見る時間をある程度短くすればよかった。

◇インタビュー動画の感想は以下の通り。

- ・自動車のことを教えるのに、道具や物がないのに、どうやって教えるのか?と思った。詳しく知りたい。
- ・物がなく(少ない)なかでも、いろいろ教えることができるのがすごい。
- ・ガーナの植物を使った研究をして薬をつくろうとしているのがすごいと思った。
- ・死者が出ている病気を治す道具を作るのは大変そうだけど、ガーナの人々のためにがんばってほしい。
- ・野口英世のように、マラリアという病気にかかった人達を、自分達の力で救おうという気持ちがすごい。
- ・ぼくも、医者になるのが夢で、人の命を救う仕事はカッコいいと思った。他国に出て、人の命を救う研究をしているなんてすごいなと思った。
- ・日本の農業のやり方をガーナの人に教えているのがすごい。
- ・農業を、一緒にやりながら教えるのはいいと思った。
- ・農業の道具にもいろいろな工夫があった。簡単な構造で便利な道具を作っている。
- ・今、将来の夢であまり農家の人になろうと思う人が日本にはそんなにいないけど、ガーナでは食べ物があまりないから、日本の技術を覚えてたくさん作物を作ってほしいと思った。
- ・ガーナは貧しいけど、その分日本よりも家族などいろいろな人と仲が良いのだなと思った。
- ・小さいことでもやっていくと、少しずつ変わっていくことが分かった。
- ・日本の技術がガーナの人達に伝わるといいと思った。
- ・自分が強い好奇心を持つことが必要だと思った。
- ・国際協力は、資金の問題ではなく、どうやってうまく教えればいいのかという問題だと思う。

### 3 使用した教材

<教材11> 青年海外協力隊(自動車整備)のインタビュー動画

<教材12> 感染症研究者のインタビュー動画

<教材13> 天水稻作専門家のインタビュー動画

## 7~ 時限目「世界で働く、自分だったら？」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 「世界で日本人ががんばっている仕事(技術)とは？」…これまでに触れてきた仕事も含め、考えて伝え合う。<ブレインストーミング>
- ② 「要請一覧表から見える日本の技術」…世界が日本人に求めている仕事(技術)を知る。
- ③ 「自分だったら？」…やってみたい、できそう、興味がある仕事を決める。時間があれば、その職業や第一人者について調べる。

#### この時限のねらい

- 世界で日本人ががんばっている仕事を知る。
- 世界で働きたい・働ける自分の分野(仕事・技術)を考えることで、自分の目指す職業像(目標像)をもつ。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 要請一覧表の中には、名前だけではよく分からない仕事がたくさんあった。  
→改善点:簡単な語彙の分かりやすい要請一覧表を教師が作ったり、仕事内容を本やインターネットで調べる時間をとったりしていくとよいと思う。
- ◇ 様々な分野で日本人ががんばっていることを知って、驚いた児童が多かった。
- ◇ やってみたい仕事がない、将来の目標がない児童もいる。  
→とりあえず一番興味がある仕事について調べていくように声掛けをしていくとよいと思う。
- ◇ また、調べてまとめる内容は、職業自体を詳しく調べてまとめてもいいし(職業図鑑等)、その職業の第一人者について調べてもまとめてもよいと思う(伝記等)。どうやったらその職業になれるのか、職業に求められている力(技術)は何か、職業の待遇条件はどうか、第一人者の人生はどうだったのか等、まとめ方は児童と相談して決めていけばよいと思う。
- ◇ また、国際協力という観点から、具体的な国際協力の内容を調べてまとめてもよいと思う。
- ◇ 児童の実態、実施可能な時間数等も考慮して、時間数を決めていけばよいと思う。

### 3 使用した教材

・<教材14> 青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア要請一覧表